

# 守山まるごと活性化プラン検討委員会 学区別会議 ニュースレター

## 第 4 回 学区別会議 [吉身学区]

平成 25 年 10 月 2 日（水）午後 7 時 30 分から吉身会館において、守山まるごと活性化プラン検討委員会の第 4 回学区別会議を開催しました。

吉身学区にお住まいの住民 20 名で、まず前回会議で出された学区のまちづくりを進めていく上での課題や方向性について、大きな見落としがないかなどふりかえりました。次に、学区のまちづくりの具体的取り組みについて話し合い、最後に参加者同士で共有しました。

### 学区別会議の様子

#### ■当日のプログラム

- ①挨拶：三宅学区長より
- ②内容説明：本日進め方、第 3 回検討結果の説明
- ③テーブルに分かれて意見交換：『前回会議のふりかえり』、  
『学区のまちづくりの取り組みを考える』
- ④結果の発表・共有：テーブル毎で話し合った内容を発表して共有



▲結果を発表し参加者で共有

### テーブル毎に吉身学区の『まちづくりの具体的取り組み』について話し合いました



▲テーブル毎に話し合いました

- 3つのテーブルに分かれ、前回会議で出された吉身学区のまちづくりを進めていく上での「課題」や「方向性」の確認を行いました。その後、学区の「たからもの」と「課題」を関連づけて、学区のまちづくりの「具体的取り組み」について話し合いました。
- 『学区の課題』として、住民がまず地域を知ることが必要であることや住民が地域に誇りを持つように意識醸成が必要であること、吉身学区の特徴としてJRにより分断され東側に交流の場がないこと、目的がなくとも人が集まるような仕組みづくりが必要であることなどがあげられました。
- 『具体的取り組み』としては、「水資源やホテル・ハリヨ」や「神社仏閣や遺跡」、「既存の公園・広場」を活用した取り組みが多く挙げられました。具体的には「ホテルやハリヨを守るための環境づくりや勉強会」、「史跡等を活用した観光ルートの設定」や「観光マップの作成」、「ふれあい公園等を活用したイベントの開催」等が挙げられました。
- 『具体的取り組み』を行う上での課題としては、どのようにして若年層を巻き込むか、継続的に取り組むための仕組みづくりをどうするか等の意見が出されました。